

# かほく市指定文化財分布マップ

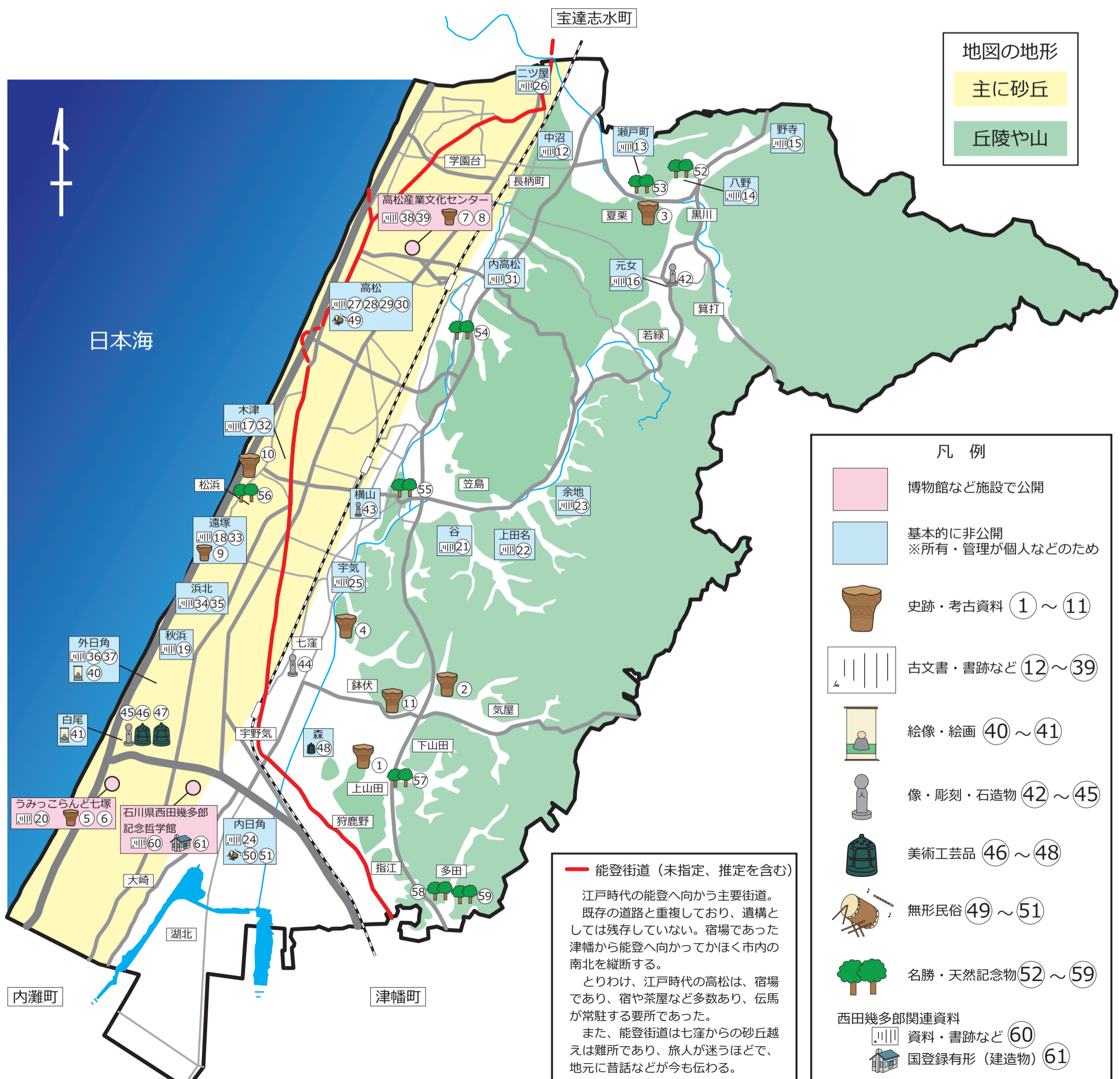
かほく市教育委員会

□はじめに


かほく市は、平成16年3月に高松町・七塚町・宇ノ気町が合併して誕生しました。とりわけ、地形が特徴的でもあり、市の東側では丘陵や山が展開し、西側では隣接する内灘町から続く砂丘が大きく展開し、南側では昭和の埋め立てにより小さくなりましたが、河北潟が展開します。加えて、河北潟周辺の山間の谷筋など（気屋や森、上山田や下山田など）は低湿地であった所で（現在は主に水田）、縄文時代中期頃の河北潟はさらに大きく広がっていたことが推定されています。

そして、かほく市内には、市の歴史や当時の生活を物語る「文化財」が点在し、その中でも一層重要であるとされる文化財が指定されています。この分布マップは、どの地域に、どのような指定文化財があるのかを、簡易に解説しつつ、紹介するものとなっています。指定文化財は、個人など所有のものがあるため、訪れたり、見ることが難しいものもありますが、博物館など施設で公開しているものや、訪れることが可能なものもありますので、ご参考にして下さい。

更新情報：令和7年9月24日に「村御印（二ツ屋村）」が新たに指定されました。



上山田貝塚



地図番号

①

指定区分

国指定

指定年

1982 年

所在地

上山田

時 代


縄文時代

所有 / 管理

かほく市

かほく市上山田にある石川県を代表する縄文時代中期の貝塚。出土した土器は「上山田式土器」として同年代の標識土器となっている。他にも石器や貝、動物や魚の骨など様々な遺物が出土した。当時の生活や環境を伺うことが出来る遺跡である。

気屋遺跡



地図番号

②

指定区分

県指定

指定年

1999 年

所在地

気屋

時 代


縄文時代

所有 / 管理

個人

かほく市気屋にある主に縄文時代後期の集落。上山田貝塚から北に約 1,300mの場所にあり、その関連が示唆されている。三角刺突紋が特徴の「気屋式土器」が出土しており、他にも土偶や石棒なども出土している。

大海西山遺跡（大海西山弥生の里）



地図番号

③

指定区分

県指定

指定年

1998 年

所在地

瀬戸町ほか

時 代


弥生時代

所有 / 管理

かほく市

かほく市瀬戸町、夏栗にある弥生時代後期の高地性環壕集落。「大海西山弥生の里」として史跡整備し、竪穴住居や環壕を復元した。弥生時代後期は各地で争いがあったといわれ、本遺跡も争いに備えるため、小高い丘陵に壕を築いたとみられる。

宇気塚越 1 号墳



地図番号

④

指定区分

県指定

指定年

1976 年

所在地

宇気

時 代


古墳時代

所有 / 管理

かほく市

かほく市宇気にある古墳時代前期の小型の前方後方墳。1 号墳の他 4 基の古墳が存在していた。古墳の前方部には棺を納めた土坑があり、鉄鎌やガラス製の小玉が出土した。この地域の有力な人物が埋葬されたと考えられている。

人体装飾付筒形土製品（通称：母子像）



地図番号

－

指定区分

県指定

指定年

1986 年

所在地

大樋美術館に貸出展示

時 代


縄文時代

所有 / 管理

かほく市

かほく市上山田にある国指定史跡上山田貝塚から出土した縄文時代中期の土製品ないし土偶。母親が子どもを背負ったような装飾が見受けられるため、通称「母子像」とも呼ばれている。2009 年にはイギリスの大英博物館にも展示された。

上山田貝塚出土品



地図番号

⑤

指定区分

市指定

指定年

1963 年

所在地

上山田

時 代

縄文時代

所有 / 管理

かほく市

国指定上山田貝塚の出土遺物。貝がらだけでなく、動物や魚の骨、石器、土器やヒスイ製太珠が出土している。また、写真のように、動物の骨や歯、貝殻などを加工した道具や装飾品も出土している。当時の生活を伺うことができる。

気屋遺跡出土遺物



地図番号

⑥

指定区分

市指定

指定年

1963 年

所在地

気屋

時 代


縄文時代

所有 / 管理

かほく市

県指定気屋遺跡の出土遺物。縄文時代後期の土器が多く確認できる。他にも、土偶や石器などが出土しており、また少量であるが、貝殻や魚の骨なども出土している。平成 30 年（2018）の調査では、ドングリなどを水にさらして灰汁を抜いた水場遺構を確認した。

二ツ屋瓦工場遺跡出土の壺形土器



地図番号

⑦

指定区分

市指定

指定年

1977 年

所在地

高松産業文化センター

時 代


弥生時代～古墳時代

所有 / 管理

個人 / かほく市

かほく市二ツ屋にある二ツ屋瓦工場遺跡から出土した弥生時代末から古墳時代前期の土器。瓦工場の土取りの際に出土したものであり、詳細は不明である。完形品で、土器を作った際の調整痕などが精細に残る。

元女堂山中世墳墓群出土の珠洲焼



地図番号

⑧

指定区分

市指定

指定年

1977 年

所在地

高松産業文化センター

時 代

室町時代

所有 / 管理

かほく市

かほく市元女にある中世墳墓群ないし経塚群から出土した珠洲焼の片口鉢と壺。地元小学校の児童らが発見した遺跡で、測量調査のみ実施した。石が積まれた円形のマウント（封土）に納められた室町時代の珠洲焼で、中身は不明であり、墓なのか経塚なのかは分からない。

白尾くろがけ遺跡群出土品



地図番号

⑨

指定区分

市指定

指定年

1980 年

所在地

遠塚

時 代

縄文時代

所有 / 管理

個人

かほく市白尾にある白尾くろがけ A、B、C、D 遺跡から表採した縄文土器片。かほく市の日本海側は砂丘であり、縄文時代などの過去の生活面がほぼ砂丘堆積で深く埋没した状況にある。これらの遺跡は、その砂丘に位置する遺跡であるが、能登有料道路（現：のと里山里海道）の整備により、現在はほぼ残存していない。

木津焼窯跡



地図番号

⑩

指定区分

市指定

指定年

1995 年

所在地

木津

時 代


江戸時代

所有 / 管理

かほく市

かほく市木津にある近世陶器を焼いた窯跡。発掘調査により、三和土の基礎に瓦や石を積んだ窯壁を確認し、全長 10 ～ 11m、幅 4.5m ほどの規模の窯と推定されている。木津焼は、文久年間（1861 ～ 1864）から明治 4 年（1871）まで、主に日常雑器を焼いていたといわれている。発掘後、埋め戻し、緑地として保護。

鉢伏茶臼山遺跡



地図番号

⑪

指定区分

市指定

指定年

2006 年

所在地

鉢伏

時 代

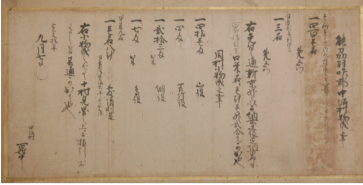
弥生時代

所有 / 管理

かほく市

かほく市鉢伏にある弥生時代後期の高地性環壕集落。高地性環壕集落として北陸地方で初めて確認された遺跡でもある。山の地形を利用しつつ、法面に壕をめぐらし、弥生時代後期の争いに備えた。県指定大海西山遺跡と同じ性格の遺跡である。

村御印（中沼村）



地図番号⑫

指定区分市指定

指定年1972年

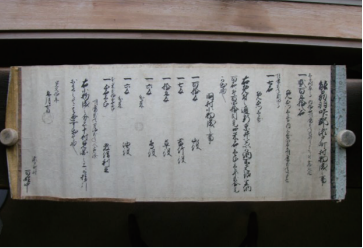
所在地－

時代江戸時代

所有／管理個人／かほく市

寛文10年(1670)に加賀藩から中沼村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。草高401石、免50%、小物成(山役41匁、鳥役7匁(出来)、苦竹役4匁、網役23匁(出来))

村御印（瀬戸村）



地図番号⑬

指定区分市指定

指定年1972年

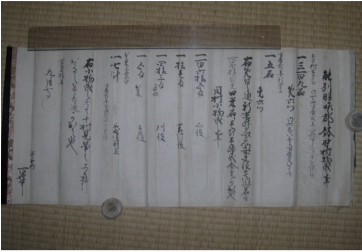
所在地瀬戸町

時代江戸時代

所有／管理個人

寛文10年(1670)に加賀藩から瀬戸村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。草高298石、免51%、小物成(山役110匁、鳥役6匁(出来)、苦竹役7匁、草野役19匁、油役6匁(出来))

村御印（八野村）



地図番号⑭

指定区分市指定

指定年1972年

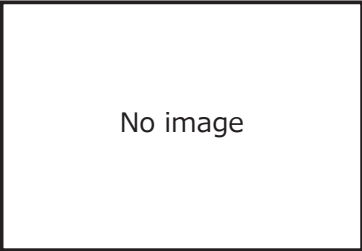
所在地八野

時代江戸時代

所有／管理区

寛文10年(1670)に加賀藩から中沼村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。草高309石、免60%、小物成(山役165匁、鳥役5匁(出来)、苦竹役11匁、川役43匁(出来))

村御印（野寺村）



地図番号⑮

指定区分市指定

指定年1972年

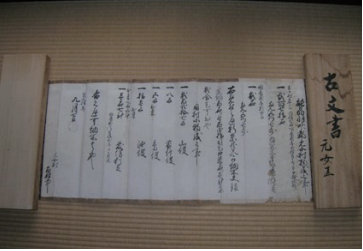
所在地野寺

時代江戸時代

所有／管理区

寛文10年(1670)に加賀藩から瀬戸村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。草高116石、免53%、小物成(山役58匁、鳥役4匁(出来)、苦竹役4匁)

村御印（元女村）



地図番号⑯

指定区分市指定

指定年1972年

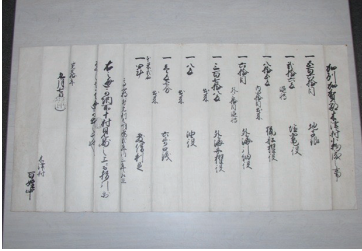
所在地元女

時代江戸時代

所有／管理区

寛文10年(1670)に加賀藩から元女村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。草高270石、免57%、小物成(山役227匁、鳥役5匁(出来)、苦竹役8匁、油役11匁(出来))

村御印（木津村）



地図番号⑰

指定区分市指定

指定年1980年

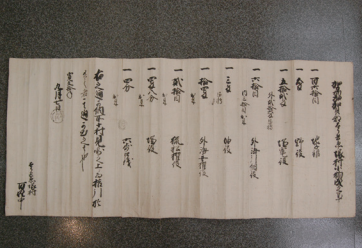
所在地－

時代江戸時代

所有／管理区／かほく市

寛文10年(1670)に加賀藩から木津村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。なお、かほく市の日本海側の村々は砂丘のため、米が作れないことから生産高(草高)が無い。草高無し、地子銀560匁、小物成(塩釜役26匁、外海船權役378匁(出来)、猟船權役85匁(出来)、外海引網役60匁、六歩口銭1.7匁、油役8匁(出来))

村御印（太郎兵衛塚村）



地図番号⑱

指定区分市指定

指定年1980年

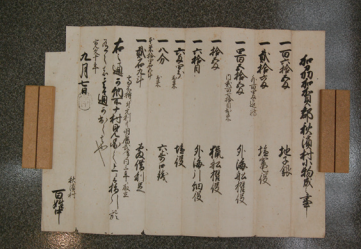
所在地－

時代江戸時代

所有／管理区／かほく市

寛文10年(1670)に加賀藩から太郎兵衛塚村(現かほく市遠塚)に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。なお、かほく市の日本海側の村々は砂丘のため、米が作れないことから生産高(草高)が無い。草高無し、地子銀160匁、小物成(塩釜役52匁、塩役4.8匁(出来)、外海船權役14匁(出来)、猟船權役20目(出来)、外海引網役60匁(出来)、六歩口銭0.4匁、油役3匁(出来)、野役5匁)

村御印（秋浜村）



地図番号⑲

指定区分市指定

指定年1980年

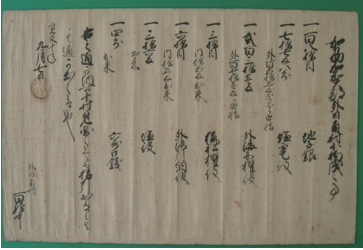
所在地－

時代江戸時代

所有／管理区／かほく市

寛文10年(1670)に加賀藩から秋浜村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。なお、かほく市の日本海側の村々は砂丘のため、米が作れないことから生産高(草高)が無い。草高無し、地子銀165匁、小物成(塩釜役26匁、塩役6.4匁(出来)、外海船權役455匁(出来)、猟船權役15匁、外海引網役60匁、六歩口銭0.8匁(出来))

村御印（外日角村）



地図番号⑳

指定区分市指定

指定年1980年

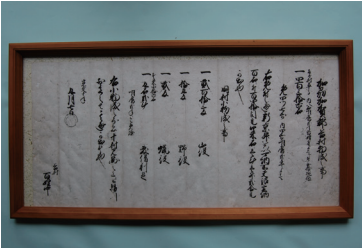
所在地うみつこらんど七塚

時代江戸時代

所有／管理区／かほく市

寛文10年(1670)に加賀藩から外日角村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。なお、かほく市の日本海側の村々は砂丘のため、米が作れないことから生産高(草高)が無い。草高無し、地子銀180匁、小物成(塩釜役77.8匁、塩役36匁(出来)、外海船權役231匁、猟船權役30匁(出来)、外海引網役60匁(出来)、六歩口銭0.4匁(出来))

村御印（谷村）



地図番号㉑

指定区分市指定

指定年1994年

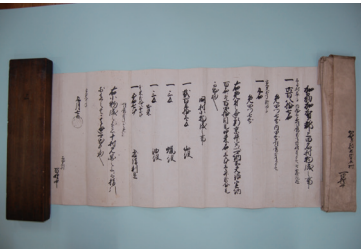
所在地－

時代江戸時代

所有／管理かほく市

寛文10年(1670)に加賀藩から谷村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。草高436石、免47%、小物成(山役213匁、野役19匁、蠟役2匁)

村御印（上田名村）



地図番号㉒

指定区分市指定

指定年1994年

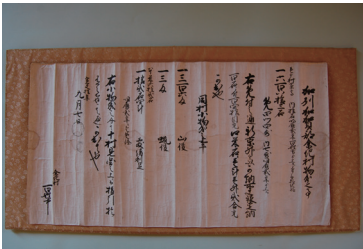
所在地上田名

時代江戸時代

所有／管理個人

寛文10年(1670)に加賀藩から上田名村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。草高687石、免47%、小物成(山役291匁、蠟役3匁、油役3匁(出来))

村御印（余地村）



地図番号㉓

指定区分市指定

指定年1994年

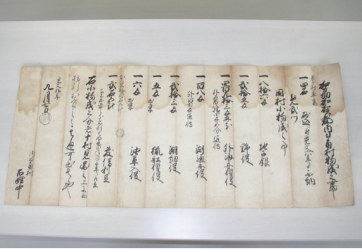
所在地余地

時代江戸時代

所有／管理区

寛文10年(1670)に加賀藩から余地村に出した文書。当時の生産高(草高)や税率(免)、その他の産業の利益などを銀で納める税(小物成)の内容が記されている。草高683石、免44%、小物成(山役306匁、蠟役3匁)

村御印（内日角村）



地図番号②4

指定区分市指定

指定年1994年

所在地ー

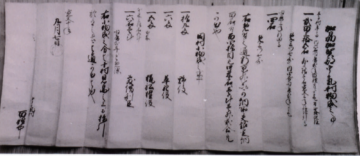
時代江戸時代

所有/管理区 / かほく市

寛文 10 年（1670）に加賀藩から内日角村に出した文書。当時の生産高（草高）や税率（免）、その他の産業の利益などを銀で納める税（小物成）の内容が記されている。

草高 4 石、免 20%、地子銀 86 匁、小物成（野役 25 匁、油草入役 6 匁（出来）、外海船權役 493.5 匁、獵船權役 5 匁（出来）、湖通舟役 108 匁、湖網約 23 匁）

村御印（宇気村）



地図番号②5

指定区分市指定

指定年1994年

所在地宇気

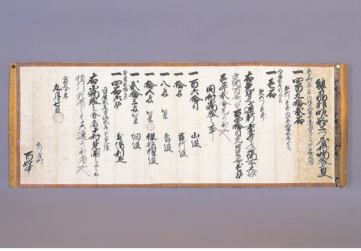
時代江戸時代

所有/管理個人

寛文 10 年（1670）に加賀藩から宇気村に出した文書。当時の生産高（草高）や税率（免）、その他の産業の利益などを銀で納める税（小物成）の内容が記されている。

草高 235 石、免 37%、小物成（草野役 6 匁、野役 19 匁、獵船權役 5 匁（出来））

村御印（二ツ屋村）



地図番号②6

指定区分市指定

指定年2025年

所在地高松産業文化センター

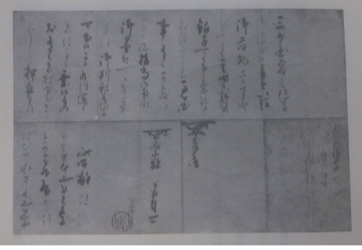
時代江戸時代

所有/管理かほく市

寛文 10 年（1670）に加賀藩から宇気村に出した文書。当時の生産高（草高）や税率（免）、その他の産業の利益などを銀で納める税（小物成）の内容が記されている。

草高 492 石（新田高 1 石を足し、計 493 石）、免 51%、小物成（山役 160 匁、苦竹役 10 匁、鳥役 8 匁、獵船權役 15 匁、網役 23 匁）

加賀藩年寄連署奉書（伝馬取締）



地図番号②7

指定区分市指定

指定年1972年

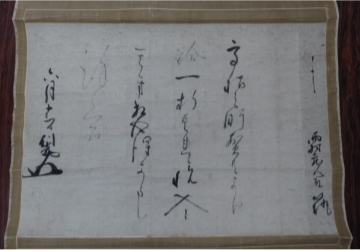
所在地高松

時代江戸時代

所有/管理個人

かほく市高松に伝わる文書。寛永 16 年（1639）に、前田利常により、天正 19 年（1591）に前田利家が能登・加賀において定めた伝馬人足徴発の法を廃止し、公用の荷物も駄賃を払わねば駄馬を出すことを禁じたもの。高松は、天正 19 年の伝馬人足徴発の法により伝馬 54 疋を徴発できる宿場となったため、この文書が宛てられた。

前田利常書状（蛤の御書）



地図番号②8

指定区分市指定

指定年1974年

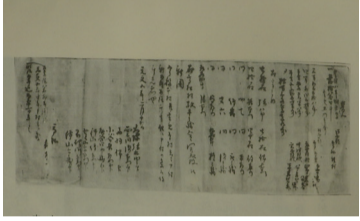
所在地ー

時代江戸時代

所有/管理高松自治文化協会 / 市

かほく市高松に伝わる前田利常の書状。江戸時代、高松は毎年のように蛤を加賀藩へ献上しており、これに対して 3 代藩主前田利常はお礼状を送った。高松は江戸時代の大火が原因で多くの文書が焼けてしまったため、この書状を御印物として大切に扱ってきた。現在も高松地区での初寄合いの際にこの書状を掛け、お神酒を添え、その年の行事について話し合う風習が続いている。

高松新村一村立の申付書の写



地図番号②9

指定区分市指定

指定年1974年

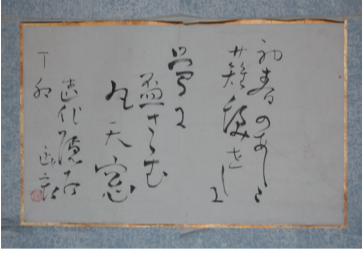
所在地高松

時代江戸時代

所有/管理個人

かほく市高松に伝わる元文 5 年（1740）に高松新村とし村立したという文書。享保 2 年（1717）に高松村十村の桜井平兵衛が長柄野での新開を加賀藩に願い出て、大海川上流（太田がきが首、現津幡町）から水を引いた長柄用水の水を長柄野の供し、享保 7 年（1722）に長柄野の高松（高松新村）、中沼、夏栗、二ツ屋の 4 村に水田を開墾した。享保 8 年（1723）での段階で百姓は 12 軒あり、4 村で 103,679 歩の面積であったことが記されている。原本は消失し、原本の写真と明治 11 年（1878）に写したものが今も残る。

黒田武亥墨跡



地図番号③0

指定区分市指定

指定年1976年


所在地高松

時代江戸時代

所有/管理個人

かほく市高松に伝わる黒田武亥の墨跡。黒田武亥は、父である羽田自明から幼少のときから俳句の手ほどきを受け、金沢の著名な俳人桜井梅室に俳句を学んだ人物。多くの俳句を詠み、後進の指導に努めた。宿場町であった高松など地域の俳句文化に貢献したことが伺える。

八幡神社（内高松）の俳額（文化二年奉納）



地図番号③1

指定区分市指定

指定年1976年

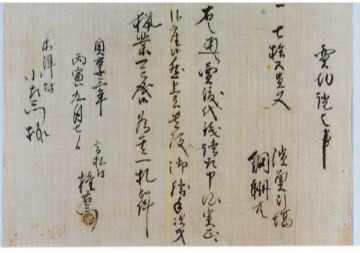
所在地内高松

時代江戸時代

所有/管理八幡神社 / 区

文化 2 年（1805）の内高松などの俳人らが上達を願い奉納した俳額。27 句が乗っており、羽田自明や当時の中央俳壇で活躍した蒼虬や車大など著名人の句もみられる。当時の地域の俳句文化を伺うことができる。

貞享三年漁場売切証文



地図番号③2

指定区分市指定

指定年1980年


所在地木津

時代江戸時代

所有/管理区 / かほく市

かほく市木津に伝わる文書。貞享 3 年（1686）、高松村の権右衛門から木津村の小左衛門との間に取り交わされた漁場の売切証文。その後、100 年ほど経て、高松村から木津村へ借り請けの返済を求め、寛政 12 年（1800）に処理された。その折の話合いの根拠として、この証文が重視されていたといわれている。当時の漁場の関係性を伺い知ることが出来る。

住吉神社（遠塚）の算額（五十嵐小豊次厚義奉納）



地図番号③3

指定区分市指定

指定年1976年

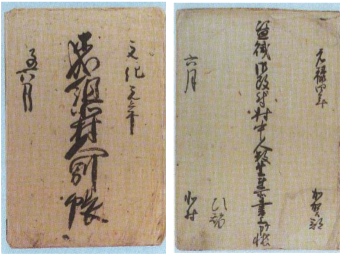
所在地遠塚

時代江戸時代

所有/管理住吉神社 / 区

かほく市遠塚にある住吉神社に奉納された算額。算額には、中国の算術に影響を受けつつ、とりわけ江戸時代に高度に発展した「和算」の難問が記されており、文化 14 年（1817）に越中国（富山県）出身の五十嵐小豊次厚義がこの難問が解けたため、そのお礼に神社に解答図面を奉納したもの。

北村人別帳



地図番号③4

指定区分市指定

指定年1980年


所在地ー

時代江戸時代

所有/管理個人 / かほく市

かほく市浜北に伝わった戸籍を簡易に把握した帳簿。全 16 冊あり、それぞれ、元禄 4 年（1691）、寛政 6 年（1794）、寛政 9 年（1797）、文化元年（1804）、天保 10 年（1839）、天保 13 年（1842）、弘化 2 年（1845）、弘化 3 年（1846）、嘉永 6 年（1853）と安政 2 年（1855）を 1 冊にしたもの、安政 5（1858）、安政 6 年（1859）、万延 2 年（1861）、文久 2 年（1862）、文久 4 年（1864）、慶応 3 年（1867）、明治 5 年（1872）がある。

延宝七年御定書（二日読）



地図番号③5

指定区分市指定

指定年1980年

所在地ー


時代江戸時代

所有/管理個人 / かほく市

かほく市浜北に伝わった御定書。延宝 5 年（1677）に加賀藩が領内の村々に農民の生活を統制するために出した御定書、通称「村形二日読」を喜多西家が書写し、振仮名をつけ、忠実に読み聞かせを実行していたとみられる。なお、このように振仮名をつけた御定書は類例がない。全 106 頁。

古文書・書跡など3 地図番号③⑥～③⑨

泉龍寺祐賢・佛照寺祐意連署奉書



地図番号③⑥

指定区分市指定

指定年1976年

所在地外日角

時代江戸時代


所有/管理因托寺

かほく市外日角にある因託寺に伝わる文書。慶長12年（1607）年1月27日、3月に親鸞の350回忌法要を行うため、河北郡の坊主や門徒の参詣を督促したもの。江戸時代初期、加賀地方ではいまだ一向一揆の余波が残る中で出された文書である。

飛脚注進札

短冊型

駒型



表裏

表裏

地図番号③⑦

指定区分市指定

指定年1996年


所在地ー

時代江戸時代

所有/管理区/かほく市

かほく市外日角に伝わる木製の札。形が短冊状のものが3枚、駒状のものが1枚、計4枚ある。文化元（1804）年にロシアが来日したことをきっかけに、幕府は各藩に海防対策の強化を命じていた。これを受け加賀藩は嘉永3年（1850）に能登の各所に御台場を築き防衛に努め、異国船を見かけた際、直ちに注進するよう命じている。これらの札は、嘉永7年（1854）に、加賀藩への注進を行うため、使者に持たせた札である。また、注進に係るその他の物事（雨具や草鞋、灯り、足を傷めたら馬を使うなど）について便宜を図るよう記されている。

天保十四年の高札



地図番号③⑧

指定区分市指定

指定年1976年

所在地高松産業文化センター

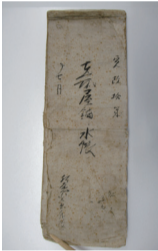
時代江戸時代

所有/管理かほく市

天保14年（1843）の夏栗村の辻（道が交差するところ）に建てられたと、夏栗の肝煎だった清水家に伝わった高札。天保年間は大凶作が続き、浮浪者が多く世の中が不安定であった。加賀藩が百姓らに注意の心得や治安に関する主旨を記し、注意喚起した高札。

絵像・絵画 地図番号④①～④①

寛政拾年の高松在所屋舗水帳



地図番号③⑨

指定区分市指定

指定年1974年


所在地高松産業文化センター

時代江戸時代

所有/管理かほく市

寛政10年（1798）の7月に肝煎であった小兵衛によって全68頁にわたり記された家舗水帳。家々の前口（間口）と奥行を実測したもので、前口の長さに比例して、村の雑費を割り当て（村費の徴集）を行ったもの。当時の街並みなどを伺うことが出来る。

絹本着色本願寺二代門主如信影像



地図番号④①

指定区分市指定

指定年1976年


所在地外日角

時代江戸時代

所有/管理因托寺

かほく市外日角にある因託寺に伝わる絵像。絵像の裏には、本願寺宣如の御判と「寛永十八辛巳暮仲夏十五日書之」と記されている。因託寺は、もとはかほく市上山田にあり徳應寺と号していたが、本願寺の蓮如が巡錫の際に、住職徳従がこれに帰依し外日角へと移った。元亀年間（1570～1573）、本願寺と織田信長の石山合戦の際に、徳従も出陣し、11年の籠城のあと天正10年（1582）に帰郷したといわれる。その後、寛永18年（1641）年に本願寺13代（東本願寺3代）宣如が徳従を追賞し、この絵像と因託寺の寺号をおくり復興された。

絹本着色方便法師尊像



地図番号④①

指定区分市指定

指定年1976年

所在地白尾


時代江戸時代

所有/管理龍賢寺

かほく市白尾にある龍賢寺に伝わる絵像。絵像の裏には、「實如上人文亀式壬戌年願主釋淨誓」と記されている。龍賢寺は、文明年間（1469～1487）に、山田（現：かほく市上山田）の城主であった廣瀬伊賀守貞信が、落城後、文亀2年（1502）に白尾に建立したのが始まりであるといわれている。

像・彫刻・石造物 地図番号④②～④⑤

本乗寺（元女）前の五輪塔板碑



地図番号④②

指定区分市指定

指定年1977年


所在地元女

時代室町時代

所有/管理区

室町時代のものでみられる元女にある本乗寺の前にある板碑。五輪塔が陽刻されており、室町時代のもので推定されている。

木製釈迦如来坐像



地図番号④③

指定区分市指定

指定年1971年


所在地横山

時代鎌倉時代か

所有/管理常行寺

かほく市横山にある常行寺にある木製仏像。胎内に般若心経と運慶作の仏像の頭片が納められていると伝わっている。地域で大切にされてきた。

石造地藏菩薩坐像（七窪地藏尊）



地図番号④④

指定区分市指定

指定年1963年


所在地七窪

時代江戸時代

所有/管理七窪神社/区

現在、かほく市七窪にある七窪神社に納められている石製地藏。通称「七窪地藏」と呼ばれている。背中に存立の謂れが刻まれており、享保9年（1724）に加賀藩十村役の渡邊弥右衛門永忠によって、砂丘を行き来するための目印として七窪の能登街道筋に建てられた。その後、道の整備なども相まって現在の七窪神社へ移動し、地域で管理している。

専長寺（白尾）の水船（唐仁屋宗慶寄進）



地図番号④⑤

指定区分市指定

指定年1976年


所在地白尾

時代江戸時代

所有/管理専長寺

かほく市白尾にある専長寺にある水船。水船には貞享元年（1684）に唐仁屋宗慶が専長寺に寄進したと刻まれている。地域の伝承として、唐仁屋三郎兵衛という人物がおり、海外貿易をするほどの豪商であったことや、一夜にして没落するなどが伝わっている。伝承がどこまで真実か分からないが、少なくとも唐仁屋一族がいたことは確かであり、寺社に寄進するほど財を成したことが伺える。


トピック かほく市史編さん事業



かほく市は、現在、市史編さん事業を進めているにゃん！多くの専門家や研究者など先生方が、かほく市史編さん室の職員と共に、市内の調査・研究をしているにゃん。




令和6年12月には、『図説 かほく市の歴史と文化』が刊行されたにゃん！

電子版が市の図書館HPから閲覧できるので、興味のある皆さんは、ぜひともみてほしいにゃん！






図説 かほく市の歴史と文化






<div>雙樹寺（白尾）の梵鐘</div> <div></div> <div>地図番号④6 指定区分市指定 指定年1998 年 所在地白尾 時 代江戸時代 所有 / 管理雙樹寺</div> <div>かほく市白尾にある雙樹寺にある梵鐘。銘が刻まれており、元禄 12 年（1699）に宮崎寒雉義一（初代寒雉）が作成した。寒雉は加賀藩の御用を務め、釜師として茶道具の作成に携わった名匠である。</div>	<div>専長寺（白尾）の梵鐘</div> <div></div> <div>地図番号④7 指定区分市指定 指定年1998 年 所在地白尾 時 代江戸時代 所有 / 管理専長寺</div> <div>かほく市白尾にある専長寺にある梵鐘。銘が刻まれており、寛文 7 年（1667）に宮崎彦九郎義一（初代寒雉を名乗る前）が作成した。寒雉は加賀藩の御用を務め、釜師として茶道具の作成に携わった名匠である。</div>	<div>地藏菩薩懸仏</div> <div></div> <div>地図番号④8 指定区分市指定 指定年1963 年 所在地森 時 代鎌倉時代 所有 / 管理個人</div> <div>昭和 35 年（1960）にかほく市上山田の土取り場から出土した青銅製鋳物。鎌倉時代のもものと推定されている。当時の信仰を伺うことができる。</div>
---	---	---



<div>高松ヤッサン踊り</div> <div></div> <div>地図番号④9 指定区分市指定 指定年1995 年 所在地高松 時 代～近現代 所有 / 管理高松自治文化協会</div> <div>かほく市高松の秋季祭礼の際に踊られた踊り。資料が乏しいため、起源は不明であるが、もともとは盆踊りとして始まり、時代の変化とともに秋季祭礼で踊られるようになったといわれている。『門出八島』などの音頭にあわせて踊る際に「ヤッサン」という囃が入ることから、ヤッサン踊りと呼ばれている。</div>	<div>内日角まだら</div> <div></div> <div>地図番号⑤0 指定区分市指定 指定年1995 年 所在地内日角 時 代～近現代 所有 / 管理内日角伝承芸能保存会</div> <div>かほく市内日角に伝わる歌と振付。もともとは元服を祝うための酒盛りの場で、15 歳の男子が米俵を担ぐ洗礼を受け、先輩からの祝福として歌われたもの。現代では、祝いの場で歌われ、1983 年に振付が加わり、内日角伝承芸能保存会が伝承している。</div>	<div>内日角荷方節</div> <div></div> <div>地図番号⑤1 指定区分市指定 指定年1995 年 所在地内日角 時 代近現代 所有 / 管理内日角伝承芸能保存会</div> <div>かほく市内日角に伝承される唄と踊り。江戸時代から大正の初め頃にかけて河北潟を行き来した駄賃船の荷物を運んだ荷方衆の仕事唄と踊り。現在はかほく市生涯学習フェスティバルで公開されている。</div>
--	---	--



<div>小東間神社（八野）社叢スダジイ林</div> <div></div> <div>地図番号⑤2 指定区分市指定 指定年1974 年 所在地八野 時 代－ 所有 / 管理小東間神社 / 区</div> <div>かほく市八野にある小東間神社の社叢。県内でも少なくなった椎の木（種類：スダジイ）の原生的に群生している場所で、地域の方々に管理している。</div>	<div>瀬戸菅原神社（瀬戸町）のモチ</div> <div></div> <div>地図番号⑤3 指定区分市指定 指定年1977 年 所在地瀬戸町 時 代－ 所有 / 管理瀬戸菅原神社</div> <div>かほく市瀬戸町にある瀬戸菅原神社のモチの木。樹齢が推定 230 年ほどといわれており、地域の方々に大切にしている。</div>	<div>八幡神社（内高松）のヤブツバキ</div> <div></div> <div>地図番号⑤4 指定区分市指定 指定年1998 年 所在地内高松 時 代－ 所有 / 管理八幡神社 / 区</div> <div>かほく市内高松にある八幡神社の境内のヤブツバキ。地域の方々に管理している。</div>
--	---	--

トピック かほく市の博物館



かほく市ゆるキャラにゃんたろう

かほく市内には、指定文化財以外にも、多くの文化財があるにゃん！「うみっこらんど七塚」には昭和半ばあたりまで盛んであった漁業を偲び、内日角や大崎などの市内や能登方面の漁具を解説、展示されているにゃん！  
他にも、哲学をテーマに展示・解説した「石川県西田幾多郎記念哲学館」があることは、全国的にも珍しい特徴だにゃん！  
この二つの建物は、日本を代表する建築家が設計したことも特徴的で、海と渚の博物館は「内井昭蔵」が、石川県西田幾多郎記念哲学館は「安藤忠雄」が設計したにゃん！  
皆さんぜひとも、足を運んでほしいにゃん！



うみっこらんど七塚 海と渚の博物館






石川県西田幾多郎記念哲学館






かほくふるさと展示室の様子




他にも、海と渚の博物館の一室に、「かほくふるさと展示室」があるにゃん！  
かほく市の概要や、文化財の紹介、かほく市出身の著名な人物などをコンパクトに解説展示しているにゃん！  
不定期にミニ企画展も行い、普段公開していない市内文化財をみることができるにゃん！


名勝・天然記念物 2
地図番⑤⑤～⑤⑨

<div> <div> 賀茂神社（横山）社叢 </div> <div>  </div> </div> <div> <div> <div>地図番号</div> <div>⑤⑤</div> </div> <div> <div>指定区分</div> <div>市指定</div> </div> <div> <div>指定年</div> <div>1986 年</div> </div> <div> <div>所在地</div> <div>横山</div> </div> <div> <div>時 代</div> <div>－</div> </div> <div> <div>所有 / 管理</div> <div>加茂神社</div> </div> </div> <div> <p>かほく市横山にある加茂神社の社叢。加茂神社は、古代～中世の金津荘（おおおそかほく市域）の総鎮守で、現代まで続く神社である。多くの市民が訪れ、参拝している。</p> </div>	<div> <div> 専通寺（松浜）のイチヨウ </div> <div>  </div> </div> <div> <div> <div>地図番号</div> <div>⑤⑥</div> </div> <div> <div>指定区分</div> <div>市指定</div> </div> <div> <div>指定年</div> <div>1983 年</div> </div> <div> <div>所在地</div> <div>松浜</div> </div> <div> <div>時 代</div> <div>－</div> </div> <div> <div>所有 / 管理</div> <div>専通寺</div> </div> </div> <div> <p>かほく市松浜にある専通寺のイチヨウ。推定樹齢約 500 年といわれる大きなイチヨウで、少なくとも専通寺がもつ「過去日記」に文久 2 年（1862）の閏 8 月のくだりで、当時からかなりの大樹であったという記述がある。昭和 3 年（1928）の 12 月に専通寺本堂が火事となったものの、このイチヨウが火にさらされながら付近への延焼を食い止めたため、「火伏イチヨウ」とも呼ばれている。</p> </div>	<div> <div> 上山田喜多家しだれ桜 </div> <div>  </div> </div> <div> <div> <div>地図番号</div> <div>⑤⑦</div> </div> <div> <div>指定区分</div> <div>市指定</div> </div> <div> <div>指定年</div> <div>1971 年</div> </div> <div> <div>所在地</div> <div>上山田</div> </div> <div> <div>時 代</div> <div>近現代</div> </div> <div> <div>所有 / 管理</div> <div>個人</div> </div> </div> <div> <p>かほく市上山田にあるしだれ桜。明治 28 年（1895）に喜多家 15 代善兵衛が兼六園より種を持ち帰り、現在の場所に植えられ、今へと至る。開花する毎年 3 月末～ 4 月上旬頃にかけ公開しており、市内外の多くの方が見学に来る。</p> </div>
---	--	--

<div> <div> 多田妙鏡寺跡つつじ園 </div> <div>  </div> </div> <div> <div> <div>地図番号</div> <div>⑤⑧</div> </div> <div> <div>指定区分</div> <div>市指定</div> </div> <div> <div>指定年</div> <div>1986 年</div> </div> <div> <div>所在地</div> <div>多田</div> </div> <div> <div>時 代</div> <div>近現代</div> </div> <div> <div>所有 / 管理</div> <div>個人</div> </div> </div> <div> <p>かほく市多田にある妙鏡寺跡にあるつつじ園。つつじが多数植えられており、地域の方々に大事に管理してきた。開花時期の 4 月末～ 5 月上旬頃に併せて公開している。</p> </div>	<div> <div> 諏訪八幡神社（多田）社叢 </div> <div>  </div> </div> <div> <div> <div>地図番号</div> <div>⑤⑨</div> </div> <div> <div>指定区分</div> <div>市指定</div> </div> <div> <div>指定年</div> <div>1986 年</div> </div> <div> <div>所在地</div> <div>多田</div> </div> <div> <div>時 代</div> <div>－</div> </div> <div> <div>所有 / 管理</div> <div>八幡神社 / 区</div> </div> </div> <div> <p>かほく市多田にある八幡神社の社叢。県内でも少なくなつた椎の木（種類：スダジイ）の原生的に群生している場所で、地域の方々に管理している。</p> </div>	<div> <div> ハマナス </div> <div>  </div> </div> <div> <div> <div>地図番号</div> <div>－</div> </div> <div> <div>指定区分</div> <div>市指定</div> </div> <div> <div>指定年</div> <div>1976 年</div> </div> <div> <div>所在地</div> <div>－</div> </div> <div> <div>時 代</div> <div>現代</div> </div> <div> <div>所有 / 管理</div> <div>－</div> </div> </div> <div> <p>かほく市の海岸線でみられる花。6 月～ 8 月頃にかけて花が咲く。かほく市の花は桜であるが、合併が行われる前の七塚町ではハマナスが町の花であった。</p> </div>
---	--	---


西田幾多郎関連（資料・国登録有形（建造物））
地図番⑥⑥～⑥①

<div> <div> シロチドリ </div> <div>  </div> </div> <div> <div> <div>地図番号</div> <div>－</div> </div> <div> <div>指定区分</div> <div>市指定</div> </div> <div> <div>指定年</div> <div>1972 年</div> </div> <div> <div>所在地</div> <div>－</div> </div> <div> <div>時 代</div> <div>現代</div> </div> <div> <div>所有 / 管理</div> <div>－</div> </div> </div> <div> <p>かほく市の「花・木・鳥」で市民に選ばれた野鳥。石川県内のシロチドリは内灘町から羽咋郡にかけての海岸に比較的多く生息する。冬期に南へ移動するのが一般的であるが、一部のシロチドリは市内の海岸に留まる。</p> </div>	<div> <div> 西田幾多郎関係資料 </div> <div>  </div> </div> <div> <div> <div>地図番号</div> <div>⑥⑥</div> </div> <div> <div>指定区分</div> <div>市指定</div> </div> <div> <div>指定年</div> <div>1969 年</div> </div> <div> <div>所在地</div> <div>内日角</div> </div> <div> <div>時 代</div> <div>近代</div> </div> <div> <div>所有 / 管理</div> <div>かほく市</div> </div> </div> <div> <p>かほく市出身の世界的哲学者、西田幾多郎の関係資料。原稿、書簡（葉書や卷子）、書（扁額や掛軸）、書屏風（六面屏風）があり、計 54 点ある。市内の石川県西田幾多郎記念哲学館にて、西田哲学の解説とともに、随時展示。</p> </div>	<div> <div> 西田幾多郎書斎「骨清窟」 </div> <div>  </div> </div> <div> <div> <div>地図番号</div> <div>⑥①</div> </div> <div> <div>指定区分</div> <div>国登録</div> </div> <div> <div>指定年</div> <div>2003 年</div> </div> <div> <div>所在地</div> <div>内日角</div> </div> <div> <div>時 代</div> <div>近代</div> </div> <div> <div>所有 / 管理</div> <div>かほく市</div> </div> </div> <div> <p>1974 年に京都にあった西田幾多郎の邸宅が取り壊しとなるにあたり、旧宇ノ気町が書斎部分のみを旧西田記念館の横へ移築。2010 年に文化財的時代考証と修復を経て、現在の場所（石川県西田幾多郎記念哲学館）へ移築した。当時の状況のまま、机・椅子・書架・複製画が置かれ、約 2000 冊の蔵書が並べられている。この書斎から西田は多くの論文を執筆していた。</p> </div>
---	--	---

参考文献・資料

より詳しく知りたい方は、下記の刊行物をご確認下さい。

<div> <div> 石川県河北郡高松町教育委員会 1990 「高松の地蔵・石碑めぐり」 </div> <div> 石川県河北郡七塚町教育委員会 1991 「白尾くろがけD遺跡」 </div> <div> 石川県かほく市教育委員会 2005 「鉢伏茶臼山遺跡（Ⅱ）埋蔵文化材分布調査報告書」 </div> <div> 石川県教育委員会 1971 「能登海浜道路埋蔵文化財分布調査報告書」 </div> <div> 石川県教育委員会 1973 「河北郡宇の気町字宇気塚越遺跡 石川県鑄鍛工業団地協同組合団地造成関係埋蔵文化財発掘調査概報」 </div> <div> 石川県教育委員会 1995 「能登街道Ⅰ 歴史の道調査報告書 第 2 集」 </div> <div> 石川県教育委員会 2008 「石川県の近代化遺産－石川県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書－」 </div> <div> 石川県高松町教育委員会 1992 「高松町 大海西山遺跡」 </div> <div> 石川考古学研究会 1979 「上山田貝塚」 </div> <div> 宇ノ気町 2003 「ビジュアル内灘町史 砂丘に生きる町」 </div> <div> 宇ノ気七塚都市計画下水道施設組合埋蔵文化財調査団 1989 「宇ノ気町大崎くろがけ遺跡 第 1 次発掘調査概報」 </div> <div> 宇ノ気町史編纂委員会 1970 「石川県宇ノ気町史」 </div> <div> 宇ノ気町史編纂委員会 1990 「宇ノ気町 第二輯」 </div> <div> 宇ノ気町史編纂委員会 1991 「宇ノ気町 第二輯別巻集落誌」 </div> <div> 宇ノ気町教育委員会 1996 「宇ノ気町 気屋遺跡」 </div> <div> 宇ノ気町教育委員会、七塚町教育委員会 1985 「宇ノ気・七塚都市計画下水道施設組合浄化センター建設に伴う埋蔵文化財分布調査報告書」 </div> </div>	<div> <div> かほく市教育委員会 2023 「かほく市 気屋遺跡」 </div> <div> かほく市役所 2015 「かほく市制10 周年記念誌 住みよいまちへ」 </div> <div> かほく市史編集専門委員会 2024 「図説 かほく市の歴史と文化」 </div> <div> 高松町 2004 「高松町史 自然・歴史・文化 たかまつの礎」 </div> <div> 高松町教育委員会 1977 「高松町元女堂山石塚群調査概要 仮説「経塚（中世墳墓）」」 </div> <div> 高松町教育委員会 1993 「口承芸能（通称）ヤッサン踊り詞草集」 </div> <div> 高松町史編纂委員会 1974 「石川県高松町史」 </div> <div> 高松町文化財保護審議会 1977 「高松町の文化財（第 1 巻集）」 </div> <div> 七塚町史編纂委員会 1976 「七塚町史」 </div> <div> 七塚町記念誌編纂委員会 2004 「図説七塚町記念誌 海と砂丘のふるさと」 </div> <div> 七塚町教育委員会 1994 「木津窯跡 確認調査の記録」 </div> <div> 七塚町文化財保護審議会 1988 「七塚町の文化財」 </div> <div> 七塚町文化財保護審議会 2000 「七塚町の文化財」 </div> <div> 鉢伏古墳調査団・宇ノ気町教育委員会 1987 「宇ノ気町 鉢伏茶臼山遺跡」 </div> <div> 文化庁、東京国立博物館、NHK、NHK プロモーション 2009 「文化庁海外展 大英博物館帰国記念 国宝 土偶展」 </div> <div> NHK、NHK プロモーション、毎日新聞社 北國新聞社 2021 「石川ふるさと遺産」 </div> </div>
--	---